

空室物件を優先仲介 Good不動産とトーマスグループが業務提携



末竹 泰典
リノリビング
社長

牧野 修司
Good不動産
社長

長谷 裕光
リビングホールディングス
代表取締役会長

総合不動産業の(株)Good不動産(福岡市中央区大名1丁目、牧野修司社長)は、地場仲介大手の(株)トーマスリビングとリノベーションの(株)リノリビングを傘下に持つ(株)リビングホールディング(同市博多区博多駅東1丁目)と業務提携。Good不動産が管理する空室物件(マンション、アパート)をトーマスリビングが優先的に仲介する取り組みを始めた。牧野社長とリビングホールディングスの長谷裕光代表取締役会長、リノリビングの末竹泰典社長に話を聞いた。

「特定の管理会社の空き物件を、仲介会社が優先的に仲介するのは業界でも珍しい取り組みですね。」

牧野 現在、当社では福岡三越に出店して自社付けたを強化しています。更なる入居率向上に向け、県内で仲介店舗を21店舗展開するトーマスさんに協力してもらおうと長谷会長に今回の取り組みを相談したところ快諾いただきました。

長谷 Goodさんの空室物件を優先的に仲介して入居が決まった場合、当社はインセンティブをGoodさんから受け取ります。売上や利益が上がるメリットはありますが、それだけの理由だったら自社で管理物件を増やしていった方がグループの成長につながります。今回取り組みに賛同した理由としては、かねてから親交があった牧野社長からの依頼だったという点で、Goodさんの管理戸

数は2万戸と、管理会社でも有数の数を誇ります。成約数が増えれば、物件オーナー様に「トーマスのリーシングは強い」と思ってもらえることは、当社にとってプラスに働くことでしょう。

末竹 6カ月以上、入居が決まらない部屋を持つオーナー様には当社(リノリビング)が物件の施設状況や周辺の競合物件を調査した上で、リノベーションサービス「フリリノ」を提案します。リノベーションは施工中に思わぬ出費がかさむこともあります。当社のサービスは「改修費用0円」なので安心です。また、アパートローンの支払いが難しくなった場合にファイナンスの組み換えの提案を行い、リノベーション工事完了後の募集期間(免責期間)を経過した後、入居が確定しなければ確定賃料の家賃保証も行いません。

牧野 効率化及び生産性が求められる現在、得意な分野を他社とシェアしなければ、成長スピードや競争力は維持できません。Good不動産は管理戸数を現状の2万戸から2万5000戸、3万戸へと今後増やしていく計画です。今回の取り組みをオーナー様に知っていただくことで、「Good不動産に安心して管理物件を任せてみよう」と思っていただけることを期待しています。



(株)Good不動産

本社/福岡市中央区大名1-14-45 Qiz TENJIN 9F
事業概要/賃貸管理業、賃貸仲介業、売買仲介業、不動産再生事業
資本金/1億円 従業員/102人(グループ連結)